令和８年第４回
周防大島町教育委員会会議　議事録（要点筆記）

１　日　時
令和８年８月 17 日（月）　14 時 00 分～14 時 49 分

２　場　所
東和総合センター２階　研修室２

３　出席委員
星野教育長、國行委員、柏谷委員、清木委員、田中委員

４　事務局出席者
中原教育次長、温品総務課長、柳本学校教育課長，小泉社会教育課長、
廣田総務班長

５　欠席者
な　し

６　傍聴者
な　し

７　調整者書記
廣田総務班長

８　議事録署名委員の決定
國行委員及び田中委員

９　議題及び議事の大要、質問または討論をした者の職及び要旨

(1) 議案第１号　令和８年度（令和７年度事業）教育委員会に関する事務の点検・評価報告書について

説明者：総務課長、学校教育課長、社会教育課長

質疑・意見等

（学校教育課関連）

（委　員）一番初めに「ＩＣＴ機器を使って校務支援サービスの使用が３年目となり」というところだが、課題に学校間にある使用の差が見られるとあるが、この差は何が原因だと思うかという質疑。

（事務局）まず、スキルの差でこの校務支援システムは、全ての教員が使うものである。例えばドリル学習で習熟させるソフトを入れているが、そういったソフトの使用頻度はそれぞれ違っている。研修を随分やっている学校もあるが、そうではない学校はなかなか進まない実情がある。そうした差を埋めるために、教育委員会の指導主事等がＩＣＴ担当者を集めて研修を行い、それを学校に還元して各学校のＩＣＴスキルを高めている旨説明。

（委　員）あろは教室のことですが、課題として来室者数、支援要望が増加しているとあったと思うが、現状というか、どのくらいの人が利用しているのか。増加に対応した適応とあるので、それが予測されているのかという質疑。

（事務局）現在は、中学校の生徒が１名常時来室している。また中学校の男子生徒が１人いて、来たり来なかったりというような状況であり、そのことと合わせて、１週間の中でその生徒がいつ来るかというのは分からないので、いつ来てもいいように指導員が常駐するような体制を整えている旨説明。

（委　員）検定の補助があるが、「英語検定を令和５年度から小学生に広げたことで意欲の向上につなげたい、中学校で停滞するため、受験を促したい。」と書いてあった。この年の結果は、小学校が１６％だったのが１１％に下がっている。中学生は多少上がっているが小学生の意欲につなげたいというところの結果がどうなのか。中学校で停滞するというのはほとんど下がっているような感じがしたが、その辺り、こういうことをしたけれどなかなか伸びなかったのでこういうふうにしていきたいとかというような課題の書き方にしていくと、教育委員会としても学校としても取り組んでいるがなかなか成果が上がらないというふうに見られるかなというような感じがした。

　それから、適応指導教室や、部活動の運営団体の立ち上げ、指導者の確保が必要と課題に書いてあるが、今年度大島中学校に適応指導教室が一つ増えている。だから、次年度そのような教室ができるという予定であるとか、部活動の運営立ち上げはここまで進んでいるとか、さらに効果的に運営していきたいとか、そのような表現になっていると少し分かりやすくなると思う。

（事務局）前年度からの引継ぎを受け、今年度こんなことに取り組んだからこう変わったとか、実際に取り組んでみたが成果が上がらなかったということを文言に盛り込んでいきたいと思う。

（社会教育課関連）

（委　員）１８ページの放課後子ども教育推進事業の拡充で、なぎさクラブとか沖浦っ子クラブというのは、学童とは違うのかという質疑。

（事務局）学童は福祉課のほうが所管でやっている事業で、こちらについては放課後子ども教室ということで記載のとおり、沖浦小学校では平日の放課後のみで、周防大島町放課後子ども教室というのは今までは記載のとおり、複数校ではなかったが、昨年度は４校で、７年度は町内小学校全体にご案内をということで広げているが、この開催回数と述べ参加者数ということで、民間の保育園とかにお任せしている学童とは、安下庄でいう安小、久賀でいう福祉センターというのとは形の違う制度の下やっている事業である旨説明。

（委　員）昔、なぎさクラブというのに子供を連れて行ったことがあるが、これは基本的に保護者が送り迎えをしている感じだと思うが、この放課後というぐらいなのでスクールバスをうまく利用できるものかなと思う。お迎えだけは保護者もありかなと思う。

（事務局）ご指摘のとおり、学童は安下庄から場所を変えず安下庄小学校で、久賀小の場合は場所を変えて福祉センターのほうへ、こちらはおっしゃるとおりスクールバスを利用して送りは連れて行ってもらっている。ちょっとスクールバスのシステムにはイレギュラーな対応をしている。

今、うちのなぎさクラブ・沖浦っ子クラブについては、沖浦っ子クラブは学校に残って平日なので移動はないが、なぎさクラブについては場所を、昨年度から複数校になった関係でいろんなところで開催をしている。今日やっている教室はバスを準備している。いろいろ改善を加えながら、なぎさクラブは子供を預ける関係も含め新しい試みをしながら動いている旨説明。

（委　員）放課後子供教室のところだが、指導者の方というのはどういう方がされてるのかという質疑。

（事務局）放課後子供教室というのは社会教育課の会計年度の職員が中心になってやっているが、その方が開催する教室のテーマごとに、例えば理科の実験だとかいろんな内容に応じて講師をその都度選定して開催をしている。

一方で、沖浦っ子クラブについては、こちらは地区のボランティアの方に謝金をお支払いして、交代で今７名か８名の登録があり、子供さん預かるときに最低２人の会計年度の方をお呼びして回している。教員でいらっしゃった方もおられると思うが、登録された方で対応している旨説明。

（委　員）町民の自主的活動の支援というところで、趣味や教養を高め、健康づくり等の学習を行っている団体の自主活動ですが、公民館を中心として年度初めにこういう講座をとか、こういう会がやっているというふうにチラシを入れていただけてとても役に立っていると聞いている。

その中で、公民館が主体になっているが、体育館を使ってスポーツや健康づくりで体操とかストレッチとかエアロビとかいうようなのは入っていた。生涯スポーツの普及ということで高齢者等の趣味のサークルとかそういったものと別々になっているが、これを一緒にしてこういうサークルがあるとのお知らせができるような形というのは難しいのかという質疑。

卓球とかテニス、バレーとか、今ピックルボールとかやっているが、そういったのはどこでやっているか、大島はやっているところがあるかというふうに聞かれたりもする、結構外から来られた方とか分からないので、そういうのが一覧になっているといいのかなと思う。

（事務局）こちらのチラシが生涯学習と自主学習という基本的には公民館学習の文化系で年度当初にお配りして申込みを取っているものとなり、この中には、Ｂ＆Ｇ体育館でエアロビ系のフィットネスみたいなものが中にはあるが、卓球なりバレーなり今流行りのピックルボール等々の情報は一切入ってないので、スポーツ系の自主スポーツグループも町内にたくさんあるので、スポーツ系の物をもう１枚作るとか、ちょっと検討して新年度から考えたい旨説明。

（総務課関連）

質疑なし

教育長　議案第１号について承認いただけますか。

委員　　承認。

10　議決事項

議案番号	内　　容	議決結果	議決日
議案第１号	周防大島町教育委員会に関する事務の点検・評価報告書について	承認	令和８年８月 17 日

（教育長）　以上で、教育委員会会議を閉会します。